

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新価値創造モデルを活用したコンテンツ開発および地域 PR 推進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人松本市アルプス山岳郷 0263-94-2221
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	6,109,936 円 (うち支援金: 4,887,000 円)

事業内容

【プログラムの具体化】

①受入態勢構築

・森林浴ガイド・ピラティス講師・薬膳酒づくり体験講師の選定/依頼・プログラム販売手法検討(提携宿泊施設選定・協力依頼)・オペレーションフロー策定・プログラム用備品購入

②モニターランスルー

・関係者参加によるモニターランスルーを実施・個別プログラムを行い、課題点洗い出し・課題点の修正

【PR・プロモーション】

③WEB サイト設計・制作・運用

現状、観光インフォメーション的な機能を有しているWEBサイトを、来訪モチベーションを喚起するためのコンテンツを充実させリニューアル。加えて、デジタルマーケティング活用を促進するため、MAツールを導入し効率的なマーケティング活動を推進していく。さらに多言語化に対応するため翻訳ASPを導入

④ポスター・リーフレット

・リーフレット(A4・6P・4c・5000部)・ポスター(B2・4c・100部)

⑤広報・PR

・ネット広告を活用したプロモーションとしてリスティング広告およびバナー広告を出稿し、露出認知とクリック獲得を目指す・プレスリリースを配信し、広くパブリシティ露出での認知獲得を目指す



【モニターの様子】

【目標・ねらい】

- ① 観光体験プログラムの組成
- ② プロモーションツールの開発
- ③ PR/プロモーションの実施

事業効果

- ① 体験プログラムの具体化に向けて11月に実施したモニターにて、地域関係者から体験後の意見収集を通じて、プログラムの改善点やPR/プロモーションに向けたストーリー化の示唆を得て、プログラム1件を組成した。
- ② アルプス山岳郷のWEBサイト全体をリニューアルすることで、本プログラムをより効果的に紹介できるようなサイト導線を構築できた。加えて、マーケティングオートメーションツールおよび多言語化サービスを導入することで、広く活用しやすいサイトを構築できた。また、着地型の配布ツールとしてポスター・リーフレットを作成し、今後PRに活用していく。
- ③ PRとしてプレスリリースを配信し、46媒体のWEBメディアに掲載。またプロモーションとしてGoogleを活用した検索連動型広告およびバナー広告を配信し、218,447回露出/916クリックを獲得した。

※自己評価【 B 】

【理由】

プログラム組成数は期待通りだったが、プログラム改善・検討に時間がかかり一般観光客向けの実販売が難しく、入込客数増加に至らなかったため、PRについては概ね期待通りの結果であった。

今後の取り組み

今年度具体化した着地型観光プログラムの実売につなげ、特に都市圏やインバウンドといった外部観光客のエリアへの旅行動を促進し、地域経済の活性化および本地域の魅力PRに寄与していくことをめざす。そのために、以下の項目について継続的に取り組んでいく。

- ① 付加価値向上および満足度向上のためのツール開発
- ② WEBサイト誘導を目的としたネット広告の配信および情報深度を高めるための動画制作
- ③ デジタルマーケティングの実施(WEBサイト)
- ④ プログラムのPDCAサイクルを回すための参加者アンケート収集/分析

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある